

# 令和5年度CNF実用化推進事業費 予算概要

## 令和5年度CNF関連諸施策の展開にあたって

本市では、令和元年11月に「富士市CNFプラットフォーム（以下、PF）」を設立し、PFが主体となり、CNF関連諸施策を展開している。現在、「富士市CNF関連産業推進構想」の「第2期アクションプラン(R4~R6)」に基づく取組を進めており、令和5年度は、これまでの事業を見直すとともに、本市のCNFに取り組む環境等を有効に活用し、更なるPF会員連携の促進、技術・製品等を創出する取組を積極的に実施する。

### 《CNFの実用化動向》

自動車や家電等、市場インパクトやカーボンニュートラルへの波及、質と量を伴う技術確立、製品開発等を進める必要性

#### - 懇話会等からの意見・助言など -

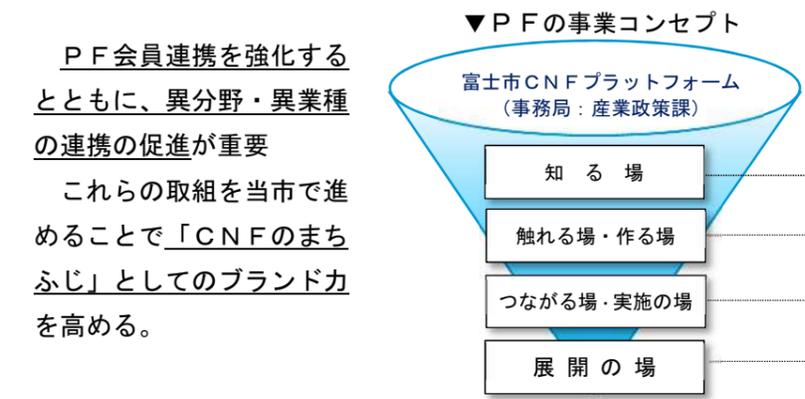
- ・ PF会員と域外の異分野・異業種との連携が重要
- ・ 市場創出に向けては、市内のみで完結するのではなく、自動車業界などと積極的にディスカッションを進めるべき
- ・ 静岡大学や東京大学との繋がりがあって、実習などでもできる環境があることから、「オープンイノベーション(OI)」スタイルでの取組の推進が効果的で、市の新しい支援形態やプロモーションとしても有益である

### 《富士市CNF連携拠点》

令和4年6月に、地域企業の技術支援や人材育成の強化を目的として、静岡県との連携により、富士工業技術支援センター内に当市の活動拠点を開設。拠点の活用の一例として、「磯貝明東京大学特別教授ラボ」を設置

### 《第2期アクションプラン》

- Action 1** CNFに関する情報の共有と有効活用
- Action 2** 用途開発を加速するマッチング機会の創出と強化
- Action 3** 「オープンイノベーション」の場の創出と支援



懇話会やPF189会員(R5.1.23現在)から寄せられた意見等を反映し計画

令和5年実施事業（★は新規事業、☆は拡充・変更事業） 小事業予算額：22,125千円

### 知る場：CNFの普及啓発、理解促進に資する事業

<b>《CNF普及推進員活動》</b> 報償費720千円、費用弁償36千円、印刷製本費38千円 出前講座等を実施し、市民レベルでのCNF普及啓発を図る。	<b>《PF会報誌作成》</b> 印刷製本費119千円 PFの活動や企業の取組等を紹介し、CNFの普及啓発・理解促進を図る。	<b>《CNF入門セミナー》</b> 報償費90千円、印刷製本費35千円 CNFへの理解促進、基本的知識の取得を目的に開催	<b>《CNFウェブサイト運営》</b> 委託料1,867千円 CNFの基礎情報、PFの紹介やセミナー案内等をアップしたウェブサイトの運営費
--	--	---	--

### 触れる場・作る場：CNFの活用に向けたサポート事業

<b>《産学連携CNFチャレンジ補助金☆》</b> 補助金5,000千円(1,000千円×5件) CNFの用途開発・研究を促進するため、高等教育機関や研究機関、CNF製造企業との共同研究・開発費用の一部を補助する。 ・補助金交付実績を踏まえた件数設定	<b>《富士市CNFブランド製品等活用勉強会》</b> 報償費60千円、消耗品費45千円、印刷製本費12千円 CNFの応用が見込まれ、当市の産業と関連が深い市場分野やPF会員の素材シーズ(富士市CNFブランド認定素材製品等)に特化した利活用に関する勉強会を開催する。 勉強会は、出口テーマを明確にし、本気度の高いPF会員等によるクローズドな環境において、CNFの特性等のデータの共有や応用事例等を把握し、研究開発やものづくりにつながるネットワーク体制の構築を図る。	<b>《デジタルツールを活用したCNFオープンイノベーション促進事業★》</b> 委託料4,994千円 CNFの認知度向上、PFの取組を紹介するとともに、PF内外のプレーヤーが連携し、どのようにCNFを使うのかの議論や新しい活用方法を見出したり、技術のすり合わせを行う「オープンイノベーション(OI)」活動を行う場を、デジタルOIプラットフォームを活用して実施。共創・協業パートナーを発掘し、企業のOIへの取組の促進を図る。
--	---	--

### つながる場・実施の場：CNF関連製品・産業創出に向けた連携・ネットワーク構築に資する事業

<b>【研究開発】</b> PF会員の大学等研究者を代表者に、会員企業との連携により、大学等が保有する技術シーズを連携する企業に展開する。  <b>【人材育成】</b> PF会員を対象としたCNF基礎講座や、「CNFに触れる・作る・使う」をテーマにした実習形式等のセミナーを開催する。  (効果) ・PF会員連携の促進とCNF関連人材の創出 ・CNFを核とした産学連携の促進 ・産学官連携拠点の活用による域外からの誘引	勉強会を経て、研究開発やものづくりに資する座組を構築し、連携による出口創出に向けた具体的な取組(プロジェクト組成)を展開(効果) ・CNFブランド認定製品の実用化 ・CNFの市場優位性が高く、インパクトのある製品開発に向けた体制の構築 ・川上から川下のCNF利活用の議論の場	PF会員の研究シーズやCNF特性等のリソースの提供、解決したい課題の提示、協業・共創パートナーの募集などを通して、CNF用途開発の加速を図る。  (効果) ・既存のCNF関連以外のプレーヤーや幅広い連携によるCNFの実用化の加速 ・企業のOIの理解促進と事業への導入
--	--	---

**《PFビジネスマッチング会☆(ふじのくにCNF総合展示会)》** ・委託料893千円  
 ふじのくにCNF総合展示会において、静岡県と連携し、来場者増加に向けた広報活動や来場者とPF会員等とのビジネスマッチング会を開催する。

### 展開の場：富士市発CNFブランドの価値を高め社会・市場に広める事業

<b>《PF活動プロモーション推進事業》</b> ・委託料2,343千円、普通旅費76千円 東京ビッグサイトなどを会場とした展示会は、サプライヤーやユーザー、研究機関等など、多くの出展者や来場者が集うビジネスマッチングの場となっている。PF活動と会員の技術・製品等の紹介・PRによる「CNFのまちふじ」のプロモーション活動を展開する。	<b>《富士市CNFブランド認定事業》</b> 報償費60千円 市民や消費者に対するCNF関連製品の価値や意義を認知する機会となるとともに、認定者はビジネスツールとして活用することが可能となる。継続した製品等の認定とブランドマークの活用により、富士市発CNF関連技術・製品のプロモーション効果を創出する。
---	--

上記以外の取組：PF全体セミナー開催、CNF関連産業推進懇話会開催、PFサプライヤー・ユーザー等マッチング会(対面・ウェブ等)、他地域のセミナー・シンポジウム等での情報収集・発信、ナノセルロースジャパンや他地域推進組織等との連携強化 など